

杏 雲 堂

～病院と皆様との架け橋～

Vol.07 2018.04.01発行



特集

- 緩和ケア病棟 開棟
- 特別展示「医家の風貌」

連載

- Dr.コラム（呼吸器内科：馬島徹）
- とくするお薬の話（薬剤科：大谷道輝）
- 部門紹介（放射線技術科）
- 入院中の食事紹介（栄養管理科）
- 竹重事務部長の“映画道”

相馬 正義（そうま まさよし）
公益財団法人佐々木研究所 理事 / 公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院 院長

【専門分野】総合診療内科/内分泌代謝内科/高血圧・腎臓内分泌代謝科（内科）専門医、
腎臓病専門医、循環器病専門医、高血圧専門医 医学博士 日本大学客員教授
日本内分泌学会功労評議員、日本高血圧学会評議員、日本遺伝子診療学会評議員、日本心血管内分泌学会功労評議員、
日本成人病（生活習慣病）学会評議員、高血圧関連疾患モデル学会評議員、日本内科学会会員、日本循環器学会会員、
日本腎臓病学会会員、日本分子生物学会会員、日本糖尿病学会会員、米国内分泌学会会員
Science Editor of Medical Science Monitor
Editorial Board Member of the Journal of Case Reports and Clinical Practice Review
Member of the Editorial Board of International Journal of Hypertension

平成30年4月1日から公益
財団法人佐々木研究所附属杏雲
堂病院の院長を拝命した相馬正
義です。私は本年3月末日まで
約11年間日本大学医学部内科
学系総合内科・総合診療医学分
野主任教授を務めてまいりました。
また、同大学附属板橋病院
にて腎臓・高血圧・内分泌内科
の科長・部長を計15年間以上
務めていたことから、総合内科
に加え内分泌・高血圧・腎臓を
専門としています。診断不明の
患者さん、甲状腺・副腎などの
内分泌疾患、若年性または難治
性高血圧、腎機能障害などの患
者さんを紹介していただけると
幸甚です。

杏雲堂病院は、初代院長の佐
々木東洋が「医学の進歩に寄与
し、医業をもつて社会に貢献す
ることを理念に135年前に
開設し、以来長年にわたる先人
達の努力によって現在に至って
います。特に前中村俊夫院長の

尽力によって、急性期高度専門
医療に加え、地域包括ケア病棟
ならびに緩和ケア病棟の充実を行
い、地域のニーズに直結した
病院に生まれ変わりました。また、
昨年は日本医療機能評価機
構の病院機能評価を受審し、認
定を得ることが出来ました。

これまでに、従来の診療体制
に加え、内科・リウマチ科、呼
吸器内科、乳腺外科、麻酔科の
充実を図ってきました。また、
本年4月から整形外科および腫
瘍内科にそれぞれ2名の常勤医
を迎える、さらに充実した医療が
提供できる体制が整いました。

杏雲堂病院は、看護部、薬剤
科、検査科、放射線科、リハビ
リ科、事務職員などのスタッフ
と各診療科医師が一致協力して、
個々の患者さんに最適な医療を
提供し、皆様から信頼される病
院として不斷の努力をしてまい
りますので、何卒よろしくお願
いいたします。

新院長就任挨拶

相馬正義





◆ 緩和ケアとは・・・

身体だけでなく心など、様々な問題にアプローチして対処することで、患者さんのクオリティ・オブ・ライフの改善を目指します。

◆ 緩和ケア病棟とは・・・

主にがん患者を対象とした、痛みや苦しみをとり、患者さん・ご家族の意向を尊重して治療やケアを行うことを目的とした病棟です。

【当院緩和ケア病棟理念】

『患者さん自らが苦しみを解放し、自分らしく生きる』ことを援助していきます。
病やその過程を自然のこととして受け入れ、患者さん・ご家族にとって最善のクオリティ・オブ・ライフが得られるよう全人的ケアでお手伝いいたします。

③ チーム医療が充実した
緩和ケア病棟

患者さん・その家族を中心にして、多職種による全人的ケアを提供いたします。看護師はじめとして、医師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・ソーシャルワーカー等がそれぞれの職能を活かして、チームで一丸となつて、最善の「クオリティ・オブ・

チーム一丸となって、サポートいたします。



白を基調とした、明るく清潔感のある調理室。

入棟基準等、詳細確定次第リーフレットを発行予定です。またホームページでもご案内いたしますので、少々お待ちください。(2018年4月予定)

※リーフレットは作成中のものです。



緩和ケア病棟 院内説明会の様子。

『患者さんが、自分らしく生きる』ことを援助していきます。

杏雲堂病院

緩和ケア病棟 特集

腫瘍内科 科長：河野 勤

～2018年5月開棟～

杏雲堂病院ではこの度
緩和ケア病棟を開棟します

ご家族にとっての和らぎの場所
として作られました。

杏雲道病院の緩和ケア病棟には、三つの特徴があります。一つ目は、都会の真ん中にある緩和ケア病棟であるということ、二つ目は、多くの腫瘍専門医がいる緩和ケア病棟であるということ、三つ目は、チーム医療が充実した緩和ケア病棟であるということです。

当院緩和ケア病棟の3つの特徴

積極的がん治療には、いわゆる三大治療と言われる『手術』『抗がん剤化学療法』『放射線治療』があり、その他にも数多くの選択肢があります。また、今は、免疫チェックポイント阻害薬やプレシジョンメディシンといった選択肢も増えてきています。実際、これらの積極的がん治療によつて、大きな延命効果や生活の質（QOL）を改善させるメリットが得られるようになって来ています。

一方でこれらの治療には、合併症・副作用・費用・また、それに費やす時間といったデメリットが伴います。メリット、デメリットの感じ方は個々の患者さんによって異なり、例えば、「大きな副作用があつても1日でも長く生きたい」という考え方の人もいれば、「数ヶ月の延命のために抗がん剤の副作用を経験したくない」といった考え方の人もあります。

緩和ケア病棟は、積極的がん治療によるメリットを追及するのではなく、病やその過程を自然のこととして受け入れる選択をされた患者さんおよびその

① 都会の真ん中にある
緩和ケア病棟

緩和ケア病棟というと、都会の喧騒から離れた風光明媚な場所に佇む病院を連想される方も多いかと思います。しかし我々は、この都会の真ん中にこそ緩和ケア病棟が必要と考えました。デジタルな情報が氾濫し、人間関係もドライと言われるこの都會の真ん中にこそオアシスが必要です。我々は、この都會のオアシスにおいて、心温まる緩和医療を提供して行きたいと考えています。



デイルーム使用例。談話室としてもどうぞ。



落ち着いた雰囲気のデイルーム。
日中、患者さんやご家族の憩いの場としてご利用になれます。



有料個室例。温かみのある木目調です。

医家の風貌

The Face
of Medicine

空間・展示デザイン © UMUT works

佐々木政吉 (1855-1939) 杏雲堂病院 (杏雲堂醫院) 2代目院長
日本人教授第1号として、大学東校 (東大医学部の前身) 教授となりました。
杏雲堂病院においては結核の名医として、多くの患者を集め病院を拡張し、
さらに明治29年 (1896) には結核療養所として杏雲堂平塚病院 (分院) を設立しました。

東京駅近くのKITTE内Pタワー学術文化総合ミュージアム「インターメディアテク」で開催中の特別展示「医家の風貌」(入場料無料)において、東京帝国大学医学部日本人教授第一号であり、佐々木研究所の礎を築いた佐々木政吉杏雲堂病院元院長の肖像画が展示されています。其に展示されている東京大学医学部教育の歴史に関わってこられた先生方の肖像画などの貴重な資料を通じて、明治時代の医家の堂々たる風貌を堪能いただける機会となつております。是非足をお運びください。



インターメディアテク
東京都千代田区丸の内2-7-2
KITTE 2-3F
2016年12月3日～展示中

インターメディアテク特別展示『医家の風貌』会場風景
©インターメディアテク

杏雲堂病院Dr.コラム <第6回>

アレルギーと呼吸器疾患

呼吸器内科：馬島徹

馬島 徹 (ましま とおる)

杏雲堂病院 呼吸器内科 部長

日本大学 客員教授

日本呼吸器学会指導医 / 日本アレルギー学会指導医

卒業して以来、呼吸器内科医として呼吸器アレルギー疾患特に気管支喘息の臨床や研究に携わっています。喘息治療は10数年前から吸入薬の進歩により、発作による喘息は減少しています。昔は当直すると必ず喘息発作の救急患者が何人も来ていましたが、今ではそのようなことが殆どなくなっています。

アレルギー疾患でいうと3月・4月はスギ花粉症のシーズンで、多くの人（罹患率約30%）が悩まされています。鼻と肺はOne airway, One Disease（一つの気道、一つの疾患）と連続した臟器という考え方で、呼吸器内科でもスギ花粉症の治療には力を入れています。近年、スギ舌下免疫療法の治療が行われるようになり、優れた成績を示しています。まだ広く知られてなく、今年も辛そうにされている方には是非勧めたい治疗方法です。呼吸器疾患の方には是非勧めたい治疗方法です。呼吸器疾患の方でも、どうぞご相談ください。

杏雲堂病院に勤務することになったことは、私としてはホームグラウンドに戻ってきたことです。杏雲堂病院に勤務していましたが、杏雲堂病院に勤務することになりました。

杏雲堂病院に勤務することになったことは、私としてはホームグラウンドに戻ってきたことです。

杏雲堂病院に勤務したことなど、杏雲堂病院に勤務するところを、もう一度嬉しい思い出です。

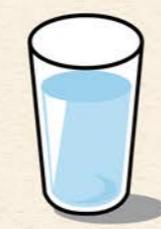
杏雲堂病院に勤務していましたが、杏雲堂病院に勤務することになりました。

杏雲堂病院に勤務することになりました。

**とくする
お薬
の話**

～第7話～

水なしで飲める薬も水で！



最近では水なしで飲める薬が増えています。医療現場ではこのような薬を「口腔内崩壊錠」や「OD(Oral Disintegrating)錠」と呼んでいます。これららの薬は水なしで飲める以外にも「飲み込むことが難かしい人でも飲める」「水分制限している人に使いやすい」「場所を選ばずに飲める」などの利点もあります。最近では下痢止めの薬をはじめとして薬局でも数多く売られています。水なしで飲める薬は、30秒程度で速やかに溶けて唾液とともに消化管に届くのにます。水なしで飲める薬は、口の中で唾液により数秒から唾液とともに消化管に達します。吸収される場所は口ではありません。吸収された薬は、水なしで飲む薬と同じ消化管であるため、水なしで飲める薬の方が直ぐに効く訳で

はありません。寝たきりの人では、口の中で溶けた薬が唾液とともに消化管に届くのに時間がかかるため、使うことが多い人でも飲める。水分制限している人に使いやすい。しかし、飲み込むことが難かしい人でも飲める。水分制限している人に使いやすい。ただし、飲み込むのが難しい人でも飲める。水分制限している人に使いやすい。

「KYO KYO HOSPITAL SYSTEM」

杏雲堂病院ニュース

今後の行事予定

「第1回 地域合同勉強会」

テーマ：緩和ケアにおける医療・介護・福祉の連携について
日時：2018年4月26日（木）18:00～
場所：杏雲ビル2階 佐々木記念ホール
対象：在宅関係者
実際の緩和ケア症例を提示しながら、地域の医療連携について考えていきます。



病院機能評価にて合格認定を受けました

A評価判定が79項目（全89項目）という素晴らしい成績で認定病院になることが決まりました。特にケアプロセス審査は不安でしたが、中村院長の事前指導も功奏し、審査員からの厳しい質問に全員がチームワークを発揮して淀みなく真摯に答える姿勢には感動を覚えるほどでした。

結果として、一つの目標に向かって皆で一丸となり協力し合った経験が、杏雲堂病院にとっての大きな「財産」になったと思います。

メール紹介

「k-kouhou@po.kyoundo.jp」宛に、近隣の医療機関からメールをいただきました！！
<件名：広報誌の竹重事務部長の大ファンです>
いつも竹重事務部長の「映画道」を楽しみしております。

ご感想いただき、大変うれしく感じております。これを励みに、さらに皆様に楽しんでいただけるよう、一同努力して参ります。ありがとうございました！！

大谷 道輝 (おおたに みちてる)： 診療技術部長・薬剤科長

薬学博士 東京大学附属病院・東京通信病院を経て、今年度より杏雲堂病院薬剤科長就任。多数の書籍執筆や、TV番組出演経験有

八八院中の食事紹介VI

モデル:こてつ君

～栄養管理科PRESENTS～
今月の献立 PICK UP 第6章

献立

ふくさ
袴寿司 菜の花団子鍋 うしお
潮汁 桜餅

栄養成分

エネルギー 602kcal
たんぱく質 27.4g
脂質 10.7g
塩分 3.3g

くいしんぼう渡辺
連携室広報誌担当
(新米パパ)
好きな和菓子
どら焼き

くいしんぼう齊川
広報誌編集長
(主婦歴10年)
好きな和菓子
すあま

2018年 3月 3日 昼食

栄養管理科からの食事説明

坪倉・楠山

たたかう
たべる
▶しらべる

少しずつ暖かくなり
春の訪れを感じます。
桃の節句ということ
で彩り鮮やかなお寿司
を作りました。桃の実
には古くから邪気を払
う力があるとされてい
たため、桃の節句とい
う名がついたそうです。
桜餅がよく食べられ
ますが、なぜ食べられ
るようになったのか特
に由来はなく、色味が
女の子の節句に合う事
と菱餅より食べやすく
おいしいことから定着
したと言われています。
少しでも皆様に春を
感じていただければ幸
いです。



患者さん本位の、患者さん側に立った心温まる医療を実践すべく、懇切丁寧な対応を心掛けてあります。

教育面においては、院内的には教育訓練の実施および機器や薬剤等に関しての勉強会の実施、また、院外的には、公的機関主催の「放射線安全管理講習会」や各種団体主催の研修会等にも積極的に参加しています。また、東京都診療放射線技師会に千代田区の地区委員として1名が参加しており、地域の技師会活動にも積極的に参加しています。

当院においては、院内では5名が女性技師で、全員が「日本乳がん検診精度管理中央機構」の認定資格を取得しております。また、マンモグラフィー及び乳腺MRI等は必ず認定女性技師が検査を実施しています。また、当院は上記機構の施設認定も取得しております。他に放射線治療専門技師1名がおり、それぞれ専門分野にて活躍しております。

放射線技術科は、診療放射線技師12名、クラーク2名の計14名にて、愛される放射線技術科を目指して全員一丸となって日々業務に勤しんでおります。

「放射線技術科」とは、どんな部門ですか？



当院の放射線機器

- 80列CT ----- 1台
- 1.5テスラMRI ----- 1台
- X線透視装置 ----- 3台
- 骨密度測定装置 ----- 1台
- 16列CT ----- 1台
- 放射線治療装置 ----- 1台
- マンモグラフィー撮影装置 - 1台
- 一般撮影装置 ----- 3台



1.5テスラMRI
「患者さんのために」
をモットーに、安全に配慮し、
最適な画像を提供します。
放射線技術科主任技師 真田 昭博



**放射線治療装置
(リニアック)**
「ゆっくり正確に、何度も確認、
安全・安心な放射線治療」
をテーマに実践しております。
日本放射線治療専門放射線技師
放射線治療品質管理士
放射線技術科主任技師 川田 勇

お知らせ

杏雲堂病院ホームページがリニューアルしました

より見やすく！ スマートフォンにも対応。



2018.4.1～整形外科常勤医入職

待望の、整形外科常勤医が入職決定！
外来診察日を拡充いたします。

診療日割は、ホームページをご覧ください。
(外来担当医表に、診察曜日・時間帯を掲載)

PCは、
トップ画面の
こちらをクリック



スマホはこちら
QRコードが便利
です

次回広報誌Vol.8にて
「整形外科特集」予定です。
お楽しみに！！



【新URL】 <https://www.kyoundo-hospital.jp/>



第七回 竹重事務部長の映画道

したこともあるて、親近感がある。

相澤病院を舞台にした 「神様のカルテ」

看板に偽りありの「映画に描かれた病院を斬る」。このところ病

院を離れて、ギンレイホールの紹介ばかりしてきたが、このあたりで本来の姿に戻さなければ。

今回紹介する「神様のカルテ」は、この相澤病院が舞台なのだ。

現役医師の夏川草介のベストセラ

ーが原作。映画の中の本庄病院は相澤病院で、撮影も相澤病院で行

われたのだが、さて出来栄えは?

うん、これはダメだ。はつきり言つて映画としてはほとんど魅力がない。よくぞ相澤病院が了解し

たなというレベル。

超忙しい救急病院でクタクタにならながらも患者に寄り添う誠実な内科医が主人公。大学(信大)

の教授から見込まれるが、末期が

住む古い旅館の同居人達の訳の分

からないシーンが盛んに出てくる

が、あれを描くならもとと病院の他のスタッフを描いてほし

い。主人公の悩みも、我が杏雲堂の先生方がもつとずっと苦しんでいると思われてならない。

ここまで貶すと逆に興味が湧く

ので? 所詮、病院とそこで働く

スタッフは、映画にはこの程度に

しか描かれないと絶望的な現

状を知つてもらうためにも、一見の価値はあるかもしれない。

の「2」はどうだろうか。

続編

のだから、きっと感銘できる作品

なんだろうが、映画を見る限りは

か、甚だ心もとない。原作者は現

役の医師で小説はベストセラーな

台なのに、山も美しくないし、演

翔(嵐)は荷が重過ぎた。ここは

まるでダメ、ぶつた斬る!



「神様のカルテ」
DVDスタンダード・エディション
¥3,800(税抜)



発売元：博報堂DYメディアパートナーズ・小学館 販売元：東宝

<編集後記>

先日、病院外観イラストを描くにあたり、遠近法の本を読みました。その中で「AとB、どちらが立体的に見えますか?」という質問があり、ほとんどの問題で「大多数の人間の見え方とは違う」結果でした。私のような少数派は、美大生やデザイナーには99%存在しないらしいです。脳の特性の問題ですが、プロを目指すなら通常「適正外」として自然淘汰されているんですね。個性を伸ばして独特の世界観を極めろと? 広報誌に求められているモノでは無さそうな… (人生ハードモード齊川)

杏雲堂 Vol.07

発行：杏雲堂病院 広報委員会
発行日：2018年04月01日

ご意見ご感想は
k-kouhou@po.kyoundo.jp
までお寄せください

公益財団法人佐々木研究所附属

杏雲堂病院

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台1-8

TEL : 03-3292-2051 (代表)



最新情報は公式HPへ

[URL] <https://www.kyoundo-hospital.jp/>



杏雲堂病院

検索

外来のご予約

外来予約センター電話番号

03-3292-2058 (直通)

予約受付時間

月～金・9:00～17:00

土・9:00～12:00

検診のご予約

検診センター電話番号

0120-132-051 (フリーダイヤル)

03-3292-0551 (直通)

予約受付時間

月～金・13:00～16:00

患者さんご紹介等

地域連携室連絡先

TEL: 03-3292-2054 (直通)

FAX: 03-3292-1300 (直通)